

434万円に



- 議会費 1億758万2千円
- 労働費 4,452万3千円
- 公債費 4億2,432万9千円
- 諸支出金 290万8千円
- 商工費 4,472万2千円
 - ▷商工連合会活動費補助金 130万円
 - ▷中小企業振興融資制度預託金 1,500万円
 - ▷向日市まつり 200万円

会計 53年度 決算報告

- 総務費 10億3,309万6千円
 - ▷市民憲章推進協議会補助金 90万円
 - ▷市民会館管理費 7,284万円
 - ▷市史編さん委託料 50万円
 - ▷テレビ市政だより 100万円
 - ▷自治振興補助金(各区および自治会に対する補助金) 758万円
 - ▷自転車置き場新設工事費 445万円
 - ▷広報向日市の発行 961万円



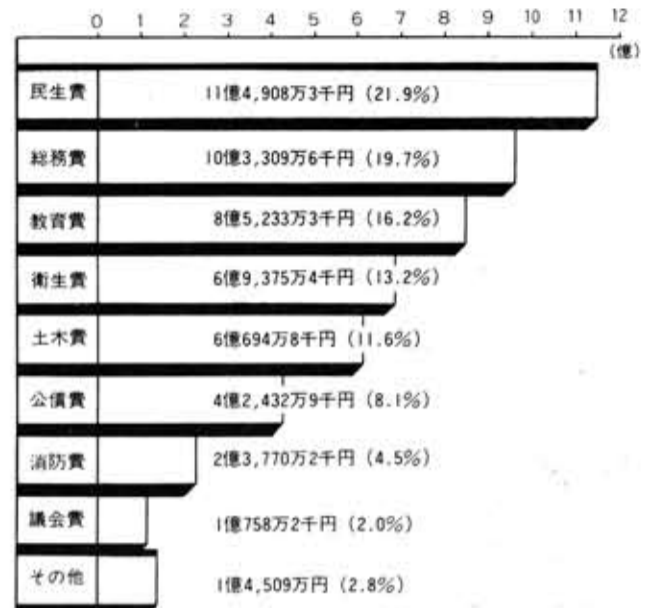
保育所管理費 4億9,984万円

- 民生費 11億4,908万3千円
 - ▷準要保護世帯見舞金 163万円
 - ▷福祉医療費 550万円
 - ▷身障者家庭奉仕員設置事業委託料 182万円
 - ▷社会福祉協議会補助金 647万円
 - ▷暮らしの資金貸付事業貸付金 135万円
 - ▷老人健康診査委託料 134万円
 - ▷ねたぎり老人家庭奉仕員社会福祉協議会委託料 497万円
 - ▷老人クラブ事業補助金等 146万円
 - ▷老人医療費 1億1,197万円
 - ▷老人福祉施設措置費 3,360万円
 - ▷老人福祉年金 378万円
 - ▷老人福祉センター費 4,472万円
 - ▷身体障害者扶助費 930万円
 - ▷精神薄弱者扶助費 1,200万円
 - ▷屍間家庭保育委託料 336万円
 - ▷無認可保育所入所者等補助金・保育施設補助金 558万円
 - ▷児童福祉手当 574万円
 - ▷児童手当 4,559万円
 - ▷組合立ポニーの学校負担金 1,390万円
 - ▷保育所管理費 4億9,984万円
 - ▷委託児童措置費 2,819万円
 - ▷児童公園新設整備工事費 309万円
 - ▷生活保護扶助費 1億6,077万円

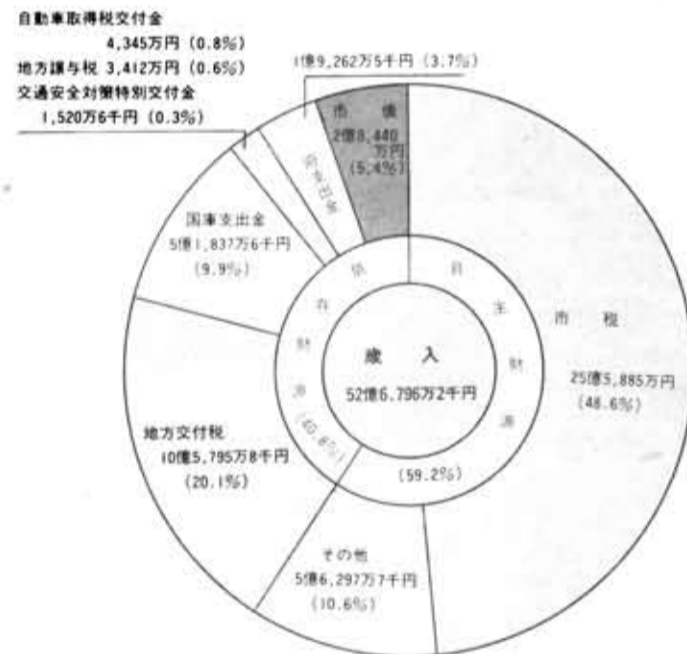
昭和五十三年年度の決算額は、一般会計、特別会計(国保・水道・下水道事業)あわせて歳出総額七十九億一千四百三十四万円です。これを前年度と比較してみますと、歳出は十四億七千九百九十一万円(二三%)の増加となっております。

以下、昭和五十三年度の一般会計、特別会計の概要についてみてみましょう。

歳出決算額 (52億4,991万7千円)



歳入決算額 (52億6,796万2千円)

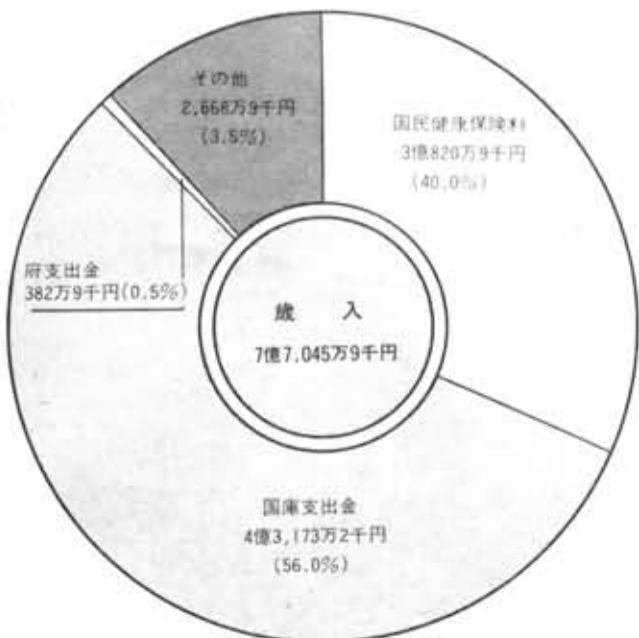


■市民1人あたりは■

昭和53年度、市民1人あたりに使われたお金は次のようになっています。

- ▷議会費 2,184円
- ▷総務費 20,972円
- ▷民生費 23,327円
- ▷衛生費 14,083円
- ▷労働費 904円
- ▷農林水産業費 1,075円
- ▷商工費 908円
- ▷土木費 12,321円
- ▷消防費 4,825円
- ▷教育費 17,303円
- ▷公債費 8,614円
- ▷諸支出金 59円

かいけい 特別会計 とくべつかいけい 特別会計 とくべつかいけい 特別会計 とくべつかいけい 特別会計 とくべつかいけい 特別会計



国保会計

昭和五十三年年度の国民健康保険事業特別会計の決算額は、歳入七億七千四百九十九万九千円(前年度比一億二千二百九十二万七千円、二九〇%の増加)、歳出七億七千四百六十六万五千円(前年度比一億二千二百七十七万四千円、一八・九%の増加)です。

したがって、五十三年度は九百七十一万三千円の黒字となりました。

また歳入では、国民健康保険料収入額の増加(前年度比三千四百三十六万五千円、一・二・五%の増)、国庫支出金の増加(療養給付費および高額療養費の増加にともなう)そして繰入金増加等があげられます。

